

令和7年度 第2回古河・坂東地域医療構想調整会議 会議録

- 1 開催日時 令和7年12月23日(火) 午後2時30分から午後3時30分まで
- 2 実施場所 茨城県古河保健所 大会議室及びWeb
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり

4 議事

(1) 定足数の確認

事務局(古河保健所地域保健推進室長 渡邊)は、古河・坂東地域医療構想調整会議について、委員総数23名中21名が出席であること(会議開始時点)を確認し、地域医療構想調整会議設置要綱(以下「要綱」という。)第7条2項に規定する定足数に達したことを宣した。

(2) 委員の紹介

9月の委員改選に伴い新たに小野寺委員、田村委員、飯塚委員が委員に就いたことを報告した。また、田村委員、針谷委員、木根淵委員、吉田(日)委員については、代理の方が出席している事を報告した。

(3) 議長の選任

9月の委員改選に伴い要綱第5条の規定により会長、副会長を選任した。会長に秋葉委員 副会長に野田委員が選任された。

要綱7条第1項の規定により、秋葉会長が議長に就いた。

(4) 会議録署名人の指名

議長は要綱第10条第1項の規定に基づく会議録署名人に、岩下委員及び門間委員を指名した。

(5) 議事

議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局および筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野 渡邊 多永子特任准教授から資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換が行われた。要旨は別紙のとおり。

○報告事項

(1) 古河・坂東医療圏における具体的対応方針の達成状況について

(2) 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業オープンデータ等の分析結果について

以上をもって、すべての議事が終了したことを議長が宣言し、閉会となった。
上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

会 長 秋葉 和敬

会議録署名委員 岩下 清志

会議録署名委員 門間 英二

令和7年度第2回古河・坂東地域医療構想調整会議出席者名簿

○委員

区分		委員氏名	役職	備考
医療関係団体	医師会	秋 葉 和 敬	古河市医師会長	会議室出席
		芝 田 佳 三	猿島郡医師会長	オンライン参加
	歯科医師会	小 野 寺 鏡 子	茨城西南歯科医師会長	会議室出席
	薬剤師会	田 村 美 帆	古河薬剤師会長	代理 岡田 英之 副会長 オンライン参加
	看護協会	飯 塚 真 弓	茨城県看護協会古河坂東地区理事	会議室出席
	病院協会	木 村 修	猿島厚生病院長	オンライン参加
保険者	川 端 成 季	全国健康保険協会 茨城支部 保健グループ長	オンライン参加	
福祉関係団体	塚 田 晴 夫	古河市社会福祉協議会会長	会議室出席	
介護事業者	小 柳 賢 時	医療法人慈生会理事長	会議室出席	
住民代表	森 川 玲 子	古河くらしの会長	会議室出席	
市町村	針 谷 力	古河市長	代理 笠島 幸子 健康推進部長 オンライン参加	
保健所	野 田 秀 平	茨城県古河保健所長	会議室出席	
基幹病院等	岩 下 清 志	総和中央病院長	オンライン参加	
	上 杉 雅 文	茨城西南医療センター病院長	会議室出席	
	加 藤 奨 一	友愛記念病院長	オンライン参加	
	木 根 淵 光 夫	木根淵外科胃腸科病院長	代理 堀 美沙 副理事長 オンライン参加	
	小 山 信 一 郎	古河赤十字病院長	オンライン参加	
	霧 見 有 史	つるみ脳神経病院長	オンライン参加	
	船 橋 宏 幸	船橋レディスクリニック院長	オンライン参加	
	門 間 英 二	古河総合病院長	オンライン参加	
吉 田 正	ホスピタル坂東院長	オンライン参加		
学識経験者	消防	吉 田 日 出 夫	茨城西南地方広域市町村圏事務組合 消防本部消防長	代理 富田 努 救急課長 オンライン参加

○事務局

茨城県古河保健所	石 井 晴 海	次長兼総務課長
茨城県古河保健所	渡 邊 智 子	地域保健推進室長
茨城県古河保健所	田 子 康 之	地域保健推進室係長
茨城県古河保健所	横 山 夏 希	地域保健推進室技師
茨城県古河保健所	倉 持 琴 奈	地域保健推進室主事

○説明者

筑波大学医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野	渡 邊 多 永 子	特任准教授
----------------------------	-----------	-------

令和7年度 第2回古河・坂東地域医療構想調整会議 質疑応答要旨

○報告事項

(1) 古河・坂東医療圏における具体的対応方針の達成状況について

秋葉議長 事務局から説明がありましたが、変更があった病院の皆様で何か確認やご質問等がありますか。

堀委員（木根淵委員代理） 特になにもありません。

秋葉議長 ご意見ないようですので、他の先生方も承認ということでよろしいでしょうか。

— 異議なく承認 —

(2) 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業

秋葉議長 渡邊先生、ありがとうございました。なかなか解釈が難しいところではありますが、何かご質問、ご意見等がありますでしょうか。

上杉委員 西南医療センターの上杉です。この様な分析を他県でも行っていることと思いますが、比較して先生が何かお気づきの点はありますでしょうか。

渡邊特任准教授 このデータ分析事業につきましては、厚労省がお金を出して各大学がそれを引き受けて、色々な自治体、都道府県で行っているところです。学会等で情報提供し共有しながらやっているところではありますが、まだまとまった結果になっていないというのが現状です。同じようにデータ分析を実施している近隣の大学、この辺でいえば自治医科大学等と連携しながらやっていたらと思います。

秋葉議長 私からもよろしいでしょうか。いくつか将来推計の中で仮定条件というのがあったかと思いますが、そのあたりの解釈はどのようにになっているのでしょうか。
例えば悪性腫瘍に関しては、早期健診や成人病検診の充実等の啓蒙活動によって将来の患者の推計値というのが変わってくるのではないかと思います。おっしゃっていただいた推計値というものもそのとおりではあるのですけれども、啓蒙活動との整合性は図れるものなのでしょうか。

渡邊特任准教授 おっしゃるとおりだと思います。将来推計についてはかなり単純な方法をとっておりまして、年齢別の罹患割合が変わらなかつたらという仮定のもとで行っております。健診の充実や医療の進歩などに従って、年齢別の罹患割合が下がった場合には、もちろんこの数字から変動する可能性があります。今回の推計には反映できておりませんが、例えば論文・研究等でこのような介入をすると早期発見がどれくらい増える、罹患割合がそれくらい下がるといった見込みの部分、取り組みの効果を加えた推計をする場合には、単純な年齢と罹患割合を用いた推計にプラスして、介入による効果を入れていくことになろうと思います。今回の推計ではそこまで行えておりませんが、今後の病床機能、患者数を減らすという点について今回のデータを活用していただければと思います。

秋葉議長 推計値ですから、下振れと上振れの幅をもってデータを出していただく方が理解しやすいかなと思います。ありがとうございました。

秋葉議長 他にはどうでしょうか、オンラインの先生方も大丈夫でしょうか。
それでは報告事項は終了いたします。